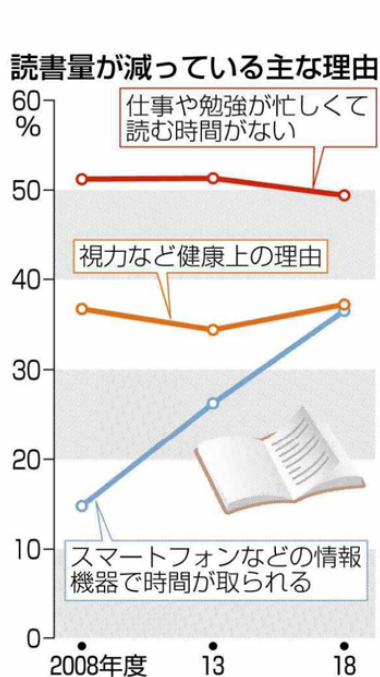




年 組 名前

道新でワークシート

読書量減 スマホが主原因



文化庁が公表した2018年度国語に関する世論調査では、読書量が以前に比べて減っていると答えた人のうち36.5%が、スマートフォンやゲーム機、パソコンなどの情報機器の使用で時間が取られることを理由に挙げた。同じ質問をした13年度は26.3%、08年度は14.8%で、10年間に2.5倍に増えたことになる。18年度調査の結果による

文化庁が公表した2018年度国語に関する世論調査で、読書量が「減っている」と回答は67.3%（13年度比2.2倍増）。「それほど変わっていない」は24.3%（2.0倍減）、「増えている」は7.1%（0.3倍減）だった。

減っていると答えた人に理由を聞いたところ、「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」が49.4%（1.9倍減）と最も高く、「視力など健康上の理由」が37.2%（2.8倍増）

文化庁調査 10年間で2.5倍に

電子書籍を「よく利用する」「たまに利用する」人は、合計で25.2%（7.9倍増）。20〜29歳では53.4%と過半数となった一方、60〜69歳は15.3%、70歳以上では9.2%にとどまり、世代間の差が改めて浮き彫りになった。

1カ月の間に1冊も本を読まないと答えた人は47.3%で、13年度調査の47.5%とほぼ同じだった。一方、読書量を増やしたいと思うかという設問に「そう思う」「ややそう思う」と答えたのは合計で60.4%で、5.9倍減った。

で続いた。スマホなどの「情報機器で時間が取られる」と答えた割合は若年層ほど高く、30〜39歳が56.6%、20〜29歳が71.3%、16〜19歳が73.5%だった。

2019年11月2日（土） 夕刊 全道遅版 社会 6P

①見出しに「10年間で2.5倍に」とありますが、見出しの適切な説明となるように、に当てはまる言葉を記事の中から探し出して書きなさい。

読書量が以前に比べて A ことの理由として、情報機器の使用で時間が取られることを挙げた人の割合は、 B 年度は36.5%で、10年前の C %の2.5倍になっている

A.

B.

C.

②次のうち「世代間の差がある」と書かれているものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 情報機器の利用が原因で読書量が減っている人
- イ 仕事や勉強が忙しくて本を読む時間がない人
- ウ 1カ月の間に1冊も本を読まない人
- エ 電子書籍を利用する人